

NextPort SPE バージョンの理解

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[NextPort のハードウェア コンポーネント](#)

[i960 バージョン番号](#)

[i960 コードのアップグレード](#)

[CSMV/6 バージョン番号](#)

[CSMV/6 \(SPE\) コードのアップグレード](#)

[関連情報](#)

概要

NextPort ベースのプラットフォームを使用する際、ルータ上で動作する NextPort コードのバージョンを確認しなければならないことがよくあります。しかし、コードのフォーマット方法および命名方法により、確認することが難しい場合もあります。このドキュメントでは、NextPort プラットフォームのコードのバージョンを判別するのに役立つガイドラインを示します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアのバージョンに基づくものです。

- NextPort ダイアル フィーチャ カード (DFC)
- AS5350、AS5400、AS5800、AS5850 などの NextPort 対応プラットフォーム

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

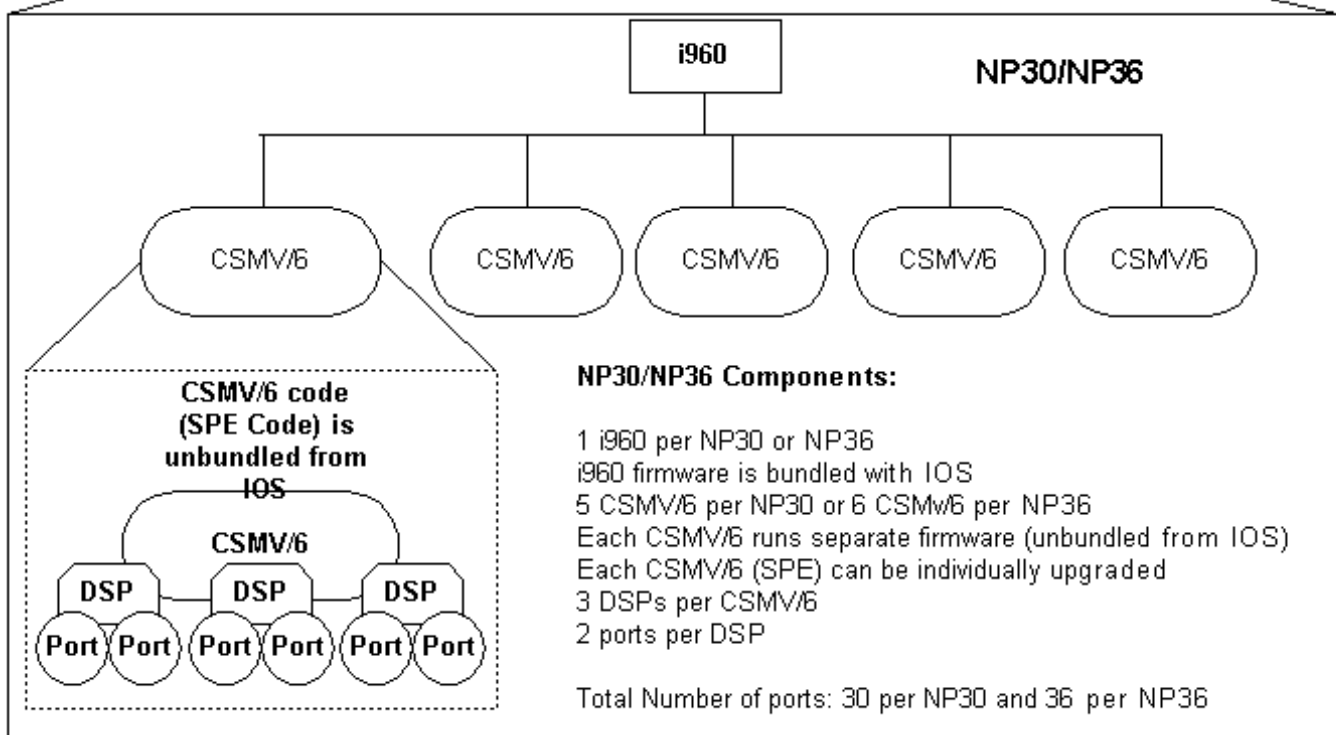
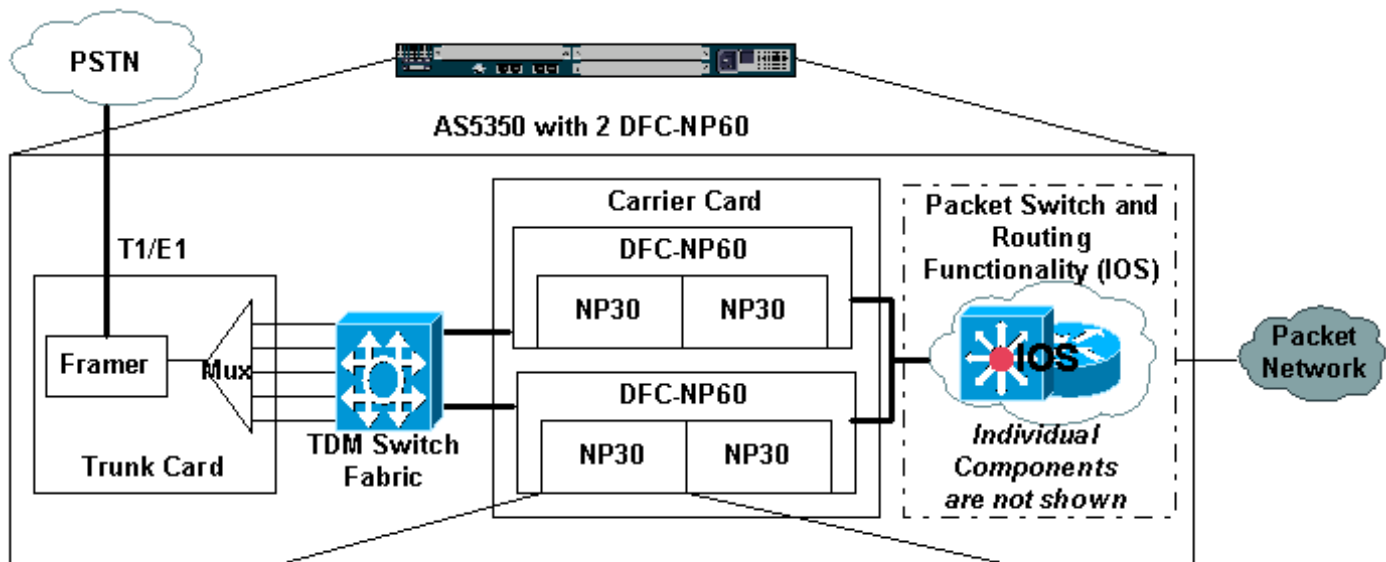
NextPort のハードウェア コンポーネント

NextPort モデム サブシステムは、NP30 や NP36 などの番号で実装されます。たとえば、DFC-NP108 には 3 つの NP36 があります ($3 \times 36 = 108$)。一方、DFC-NP60 には 2 つの NP30 があります ($2 \times 30 = 60$)。324 UPC には 9 つの NP36 が組み込まれています。

これらのモデム サブシステム (NP30 または NP36) には、それぞれ 5 つか 6 つの CSMV/6 コアと 1 つの i960 プロセッサが搭載されています。i960 は Cisco IOS® と CSMV/6 間の通信パスを処理します。

各 CSMV/6 (6 ポートのセントラル サイト モデム (csm) デバイス) には、1 つの ARM 制御プロセッサ (AT インターフェイスと EC/DC レイヤを処理します) および 3 つの DSP (それぞれが 2 つのポートのモデム変調または音声の符号化を処理します) が含まれています。

たとえば、60 ポート DFC-NP60 カードには 2 つの NP30s があり、それぞれに 5 つの CSMV/6 (それぞれは 6 つのポートを処理します) が含まれています。各 NP30 には、i960 コードの 1 つのインスタンスとその内部で実行する CSMV/6 コードの 5 つのインスタンスが存在します。



i960 バージョン番号

i960 コード (「NextPort イメージ」とも呼ばれます) には、シスコでは「np.ios」と呼ぶ形式のファイルが含まれています。このコードはバンドルせずに使用することはできませんが、Cisco IOS イメージにしかバンドルできません。

np.ios には i960 コードと CSMV/6 コードが含まれています。np.ios バージョンは「2.3.5.108」のように表示されます。np.ios バージョン番号 w.x.y.z には、以下のメンバーが含まれています。

	フェーズ (メジャー機能のバージョン)	ブランチ (マイナー機能のバージョン)	i960 バージョン (w.x が 2.2 未満の場合、重要ではありません)	CSMV/6 マイナーバージョン番号
--	------------------------	------------------------	--	-----------------------

	w	X	y	z
例	2	3	5	108

shownextport mm を使用して np.ios バージョンを確認できます。例：

```
esc-5400#show nextport mm
```

```
IOS bundled NextPort image version: 2.3.5.108
```

```
!--- The i960 code version is 2.3.5.108. NP Module(0 ): state = MODULE NOT INSERTED NP Module(1
): state = MODULE NOT INSERTED NP Module(2 ): state = MODULE NOT INSERTED NP Module(3 ): slot=1,
dfc=0, module=0 state = MODULE RUNNING crash=0, bad=0, restarts=0, num SPEs=6 SecondaryQ hits=0,
current held=0 NP Module(4 ): slot=1, dfc=0, module=1 state = MODULE RUNNING crash=0, bad=0,
restarts=0, num SPEs=6 SecondaryQ hits=0, current held=0 NP Module(5 ): slot=1, dfc=0, module=2
state = MODULE RUNNING crash=0, bad=0, restarts=0, num SPEs=6 SecondaryQ hits=0, current held=0
... .. !--- Output omitted. ... NP Module(21): state = MODULE NOT INSERTED NP Module(22): state
= MODULE NOT INSERTED NP Module(23): state = MODULE NOT INSERTED
```

i960 コードのアップグレード

i960 コードをアップグレードする必要がある場合 (バグが原因など)、プラットフォームの Cisco IOS をアップグレードする必要があります。ルータのリロードを行わずに i960 コードをリロードすることは、サポートされていません。

CSMV/6 バージョン番号

CSMV/6 コード (「SPE コード」とも呼ばれます) は、np.ios ファイルにバンドルして使用することができます (したがって、Cisco IOS イメージにもバンドルされます)。しかし、i960 コード/np.ios とは異なり、このコードはバンドルせずに使用することもできます。また、SPE (CSMV/6) ごとに別個にロードすることができます。CSMV/6 バージョン番号は「7.11」または「6.103.11」のように表示されます。CSMV/6 バージョン番号 a.b [c] の「b」メンバーは、i960 np.ios w.x.y.z の「z」メンバーにマップされます。たとえば、np.ios 2.3.5. 108 には、SPE バージョン 6.108 が含まれます。

show spe version を使用して SPE バージョンを確認できます。実際の CSMV/6 バージョン番号 a.b[c] は、show spe version の出力 (0.a.b.c) にマップされます。

次の表は、CSMV/6 バージョンと show spe version の出力との間のマッピングの例を示しています。

CSMV/6 バージョン	show spe version の出力
7.15	0.7.15.0
6.103.11	0.6.103.11
6.108	0.6.108.0

次の show spe version の出力には、SPE バージョン 6.108 と 7.15 の AS5400 が示されています。

```
esc-5400#show spe version
```

```
IOS-Bundled Default Firmware-Filename      Version      Firmware-Type
=====
```

```

system:/ucode/np_spe_firmware1          0.6.108.0      SPE firmware
!--- The SPE version bundled with IOS is 6.108. !--- Remember that this matches with the i960
value 2.3.5.108. On-Flash Firmware-Filename          Version          Firmware-Type
=====
bootflash:np.7.15.spe                    0.7.15.0      SPE firmware
!--- Another spe file (version 7.15) has been loaded in bootflash: SPE-# Type Port-Range Version
UPG Firmware-Filename 1/00 CSMV6 0000-0005 0.7.15.0  N/A bootflash:np.7.15.spe
!--- SPE 1/00 uses the SPE code in bootflash (Version 7.15). !--- Use the firmware location
command to accomplish this.

1/01 CSMV6 0006-0011 0.6.108.0 N/A ios-bundled default
!--- All the other SPEs use the SPE code (6.108) bundled with IOS. 1/02 CSMV6 0012-0017
0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/03 CSMV6 0018-0023 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/04
CSMV6 0024-0029 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/05 CSMV6 0030-0035 0.6.108.0 N/A ios-bundled
default 1/06 CSMV6 0036-0041 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/07 CSMV6 0042-0047 0.6.108.0
N/A ios-bundled default ... !--- Output omitted. ... 6/15 CSMV6 0090-0095 0.6.108.0 N/A ios-
bundled default 6/16 CSMV6 0096-0101 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 6/17 CSMV6 0102-0107
0.6.108.0 N/A ios-bundled default

```

[CSMV/6 \(SPE\) コードのアップグレード](#)

CSMV/6 コード (SPE コード) は、IOS バンドル SPE バージョンとは関係なしに、SPE ごとに自由にロードできます。つまり、SPE コードは、ルータのリロードを行わずにアップグレードすることができます。アップグレード手順については、「[Cisco デジタル モデム内蔵ルータにおけるファームウェア/ポートウェアのアップグレード](#)」を参照してください。

[関連情報](#)

- [Cisco デジタル モデム内蔵ルータにおけるファームウェア/ポートウェアのアップグレード](#)
- [Cisco アクセス サーバの内蔵デジタルおよびアナログ モデムに推奨されるモデム キャップ](#)
- [ユニバーサル ポート カードの管理とトラブルシューティング](#)
- [NextPort ファームウェア](#)
- [Cisco テクノロジに関するサポート ページ - ダイアル](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)